

ずと、都島

みやこ

じま

Vol.
2

平成30年9月発行

2025年には団塊の世代の方々が75歳以上を迎えます。

地域の活動に参加して、住み慣れた場所でいきいきと暮らしませんか？

生活支援コーディネーターが、地域の情報をお届けします。

中野地域

住民の切実な声 「スーパーが 遠い」

「買い物弱者」という言葉をご存知ですか？ 地域の商店街の衰退や自転車に乗れなくなったことが原因で食料品や生活用品の購入が困難になっている「買い物弱者」は、今や全国に700万人いると言われています。（経済産業省調べ）

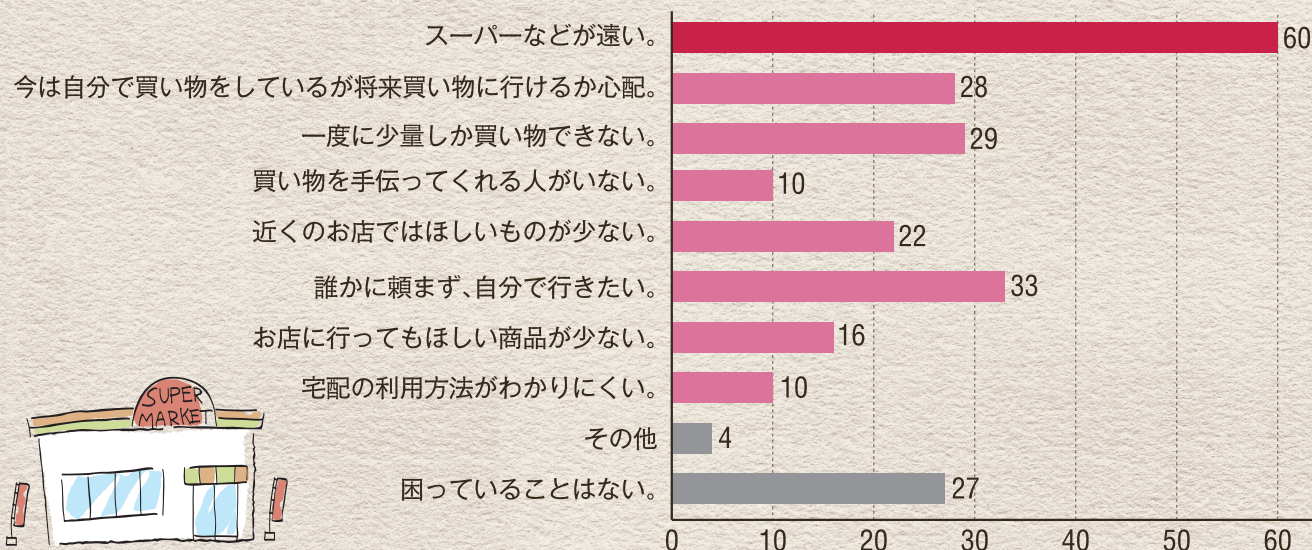
買い物に困っている人は、山間部

などの地方の住民だけでなく、近年は都市部でも増加の傾向にあります。

中野地域では、スーパーが減少したことにより、以前から「自転車に乗れなくなると、買い物が不自由」との声があります。買い物はコンビニエンスストア頼りという高齢者も少なくありません。

「日ごろのお買い物で困っていることはなんですか？」

都島区社会福祉協議会では中野連合振興町会と区内のケアマネジャーの協力を得て、中野地域の高齢者133人を対象に買い物についてのアンケート調査を実施しました。（複数回答）



買い物に関するご意見

アンケートには、同時に様々な悩みが寄せられました。

- 「自宅からスーパーが遠い。」
- 「近くにスーパーがほしい。」
- 「タクシーでスーパーへ買い物に行く。」
- 「近くにスーパーがないのは本当に切実です。」
- 「小さくてもいいのでスーパーができれば嬉しい。」
- 「自転車に乗ってスーパーへ行っているが、転んだことがある。」
- 「片手が不自由。片手で荷物を持ちながらの歩行です。」
- 「付き添いをしてくれるサービスはお金がかかる。」
- 「人と対面しながら買い物できれば安心。」
- 「注文を聞いてくれるサービスは、高齢者にはわかりにくい。」
- 「自分で手に取って商品を買いたい。」
- 「誰かに頼らず、自分の目で商品を見て選んで買い物したい。」
- 「一人分の野菜を配達してくれるシステムを作してほしい。」

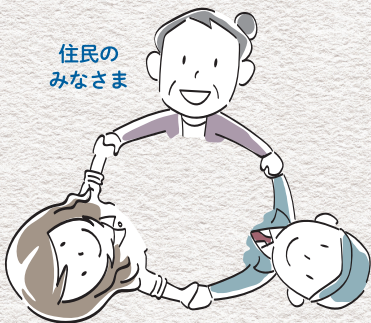
そこで

移動スーパーが、 中野地域に やってきます。

お家の近くで買い物ができるようになります。



住民の
みなさま



都島区社会福祉協議会

移動スーパー

地域のみなさまによりそうまちづくりをめざして

都島区社会福祉協議会が企業にはたらきかけ、このたび中野地域で移動スーパーの営業をお願いすることができました。お買い物が便利になるのはもちろん、ドライバーさんが商品を販売することで、対面でのお買い物が実現します。

都島区社会福祉協議会は誰もが安心して暮らせる福祉のまちづくりを応援します。

編集 後記



母が断捨離をしました。「元気なうちにコンパクトな生活に切替える。」と一念発起。私のへその緒が出てきた時、久しぶりに私が産まれたときの話をしてくれました。物は減っても思い出はいつも母のそばにあるみたいです。(さ')

社会福祉法人 大阪市都島区社会福祉協議会

〒534-0021 大阪市都島区都島本通3-12-31 ふれあいセンター都島

TEL 06-6929-9500 FAX 06-6929-9504

facebook



ホームページ

